

令和8年度 第75回全国へき地教育研究大会岐阜大会

令和8年度 第39回東海北陸地区へき地・複式・小規模学校教育研究大会岐阜大会

令和8年度 第41回岐阜県へき地複式教育研究大会

ハイブリッド大会

参集型・当日配信

ワンモア配信

収録版オンデマンド

第2次案内

(最終案内)



乗鞍岳 山頂付近

岐阜大会 スローガン

『ふるさと岐阜』で育んだ自信と誇りを胸によりよい未来の実現に挑み続ける子を育てよう！

■日時：

令和8年11月12日（木）
～13日（金）

■会場：

○第1日 高山市民文化会館
(全体会、分散会)

○第2日 岐阜県内6校・6会場

- A 本巣市立根尾学園
- B 郡上市立高鷲北小学校
- C 八百津町立久田見小学校
- D 恵那市立上矢作小学校
- E 高山市立荘川さくら学園
- F 中津川市立加子母中学校



高山市・秋の高山祭鳳凰台

あいさつ

このたび、第75回全国へき地教育研究大会岐阜大会、第39回東海北陸地区へき地・複式・小規模学校教育研究大会岐阜大会、第41回岐阜県へき地複式教育研究大会を、参集型とオンライン型によるハイブリッド大会として開催いたします。

本大会は、全国へき地教育研究連盟第10次長期5か年研究推進計画の3年次にあたる研究大会となります。『ふるさと岐阜』で育んだ自信と誇りを胸に、よりよい未来の実現に挑み続ける子を育てよう！」を大会スローガンに、本県のへき地・複式での授業公開を通して、全国各地の先生方と研究や交流を深めてまいりたいと思います。

日本のほぼ中央に位置する岐阜県は、豊かな自然と歴史が息づく「山紫水明」の地です。世界遺産・白川郷や飛騨高山の古い町並み、名湯・下呂温泉など観光名所が数多くあることに加え、戦国時代には織田信長が天下統一の拠点とした岐阜城も有名です。関の刃物や美濃焼といった伝統工芸、絶品の飛騨牛や栗きんとんなど、五感で楽しめる魅力も盛りだくさんです。岐阜県の自然、歴史、伝統文化、食文化も堪能していただきますよう、全国からの多くの皆様のお越しを心よりお待ちしております。

令和8年6月

第75回全国へき地教育研究大会岐阜大会実行委員会

実行委員長 佐藤 秀彦（高山市立柝尾小学校長）

令和8年度 岐阜県へき地複式教育研究会 研究構想

学習指導要領の基本的な考え方

- ① 2030年の社会を想定
- ② 「生きる力」という理念の具体化
- ③ 社会に開かれた教育課程の実現
- ④ カリキュラム・マネジメントの実現
- ⑤ 「主体的・対話的で深い学び」の実現
- ⑥ 生きて働く「知識・技能」の習得
- ⑦ 思考力・判断力・表現力等の育成
- ⑧ 学びに向かう力・人間性の涵養

第3期教育振興基本計画

◆基本的方針

- ① 夢と自信をもち、可能性に挑戦するために必要な力の育成
- ② 社会の持続的発展を牽引する力の育成
- ③ 生涯学び、活躍できる環境の整備
- ④ 学びのセーフティネットの構築
- ⑤ 教育政策推進のための基盤の整備

研究主題（第10次長期5か年研究推進計画を受けて）

主体的・協働的に学び、ふるさとへの誇りと愛着をもった人間性豊かな子どもの育成
～児童生徒一人一人が他者とつながり、地域とともに「生きる力」を伸ばす
学校・学級経営と学習指導の充実をめざして～

へき地・複式・小規模校教育の推進

- ① 長期・課題別・共同研究方式の推進
- ② 児童生徒一人一人を生かす教育の推進
- ③ 地域に根ざした特色ある教育活動の創造
- ④ 小規模・複式形態を生かした学習指導の充実

学校・学級経営の深化・充実

学校と家庭・地域が連携し、一体となって児童生徒に確かな学力と人間性豊かな心を育む
学校・学級経営の創造

- 1 確かな経営理念の確立と、家庭や地域と連携した確かな学びを創る特色ある教育課程の創造と推進を図る
○特色ある学校・学級経営 ○学校評価
○合同学習・集合学習・交流学习
○言語活動・伝統的な文化に関する教育
○地域人材の活用 ○9年間見通した教育計画
○社会に開かれた教育課程
○コミュニティスクール ○地域学校協働活動
- 2 ふるさとで学び、新しい時代を拓く、開かれた学校・学級経営の創造と推進を図る
○ふるさと学習 ○環境教育 ○食育
○情報教育・プログラミング教育
○外国語教育 ○安全教育（防災教育）
○幼・保・小・中・高の交流・連携、一貫教育
- 3 地域に根ざし、家庭や地域と連携して豊かな心を育む教育活動の創造と推進を図る
○考え・議論する道徳教育 ○教育資源
○異年齢集団活動 ○体験活動
○キャリア教育・進路指導
○人権教育・福祉教育
○特別支援教育

学習指導の深化・充実

児童生徒が個性を発揮しながら主体的・協働的な学びにより、意欲をもち、共に高め合う学習指導の創造

- 4 個性の伸長を重視した指導計画・実践・評価の改善・充実を図る
○基礎・基本の習得を図る指導計画
○少人数・複式学級の指導計画
○地域の環境を生かした指導計画
○評価と指導の一体化を図った指導計画
○カリキュラム・マネジメント
○個別最適な学び ○協働的な学び
- 5 学習意欲の向上や個々に最適な学びを重視した指導方法の改善・充実を図る
○体験活動を取り入れた指導方法 ○地域の教育活動
○学習習慣や学習規律の確立
○小規模・少人数を生かす教材や指導方法
○ICTを活用した指導方法 ○デジタル教科書
○言語活動を重視した指導方法
○授業評価を生かした指導方法
○ユニバーサルデザイン ○指導形態の工夫
○主体的・対話的で深い学びの視点に立った指導
- 6 主体意識をもって仲間と共に高め合う学習過程の改善・充実を図る
○複式学級における学習指導・学習過程
○個や集団の学びを生かした学習過程
○知識や技能の習得・活用を重視した学習過程
○問題解決的・探究的な学習過程
○リーダー学習 ○ガイド学習 ○遠隔授業
○異校種間・学校段階等間連携

令和8年度 第75回全国へき地教育研究大会岐阜大会

令和8年度 第39回東海北陸地区へき地・複式・小規模学校教育研究大会岐阜大会

令和8年度 第41回岐阜県へき地複式教育研究大会

1 開催趣旨

へき地・複式・小規模校の学校経営、学習指導及び生徒指導上の問題について研究協議するとともに、全国各地におけるへき地教育の研究成果を交流し、へき地・複式・小規模校教育の充実を図る。

2 研究主題

(1) 全国へき地教育研究連盟第10次長期5か年研究推進計画 研究主題

『主体的・協働的に学び、ふるさとへの誇りと愛着をもった人間性豊かな子どもの育成』
～児童生徒一人一人が他者とつながり、地域とともに「生きる力」を伸ばす
学校・学級経営と学習指導の深化・充実をめざして～

(2) 東海北陸地区へき地・複式・小規模学校教育研究大会 研究主題

全国に同じ

(3) 岐阜県へき地複式教育研究大会 研究主題

全国に同じ

(4) 岐阜県大会スローガン

「ふるさと岐阜」で育んだ自信と誇りを胸に、
よりよい未来の実現に挑み続ける子を育てよう！

3 主催

文部科学省 全国へき地教育研究連盟 岐阜県教育委員会 中津川市教育委員会
恵那市教育委員会 本巣市教育委員会 郡上市教育委員会 八百津町教育委員会
飛騨市教育委員会 下呂市教育委員会 白川村教育委員会 高山市教育委員会
全国へき地教育研究連盟東海北陸地区研究協議会 岐阜県へき地複式教育研究会

4 後援

富山県教育委員会 石川県教育委員会 福井県教育委員会 静岡県教育委員会
愛知県教育委員会 三重県教育委員会 岐阜県 岐阜市 関市 中津川市
瑞浪市 恵那市 美濃加茂市 可児市 山県市 本巣市 郡上市 海津市
養老郡養老町 不破郡垂井町 揖斐郡揖斐川町 揖斐郡池田町 加茂郡七宗町
加茂郡八百津町 加茂郡白川町 加茂郡東白川村 飛騨市 下呂市
大野郡白川村 高山市 岐阜県へき地教育振興会 岐阜県小中学校長会
公益財団法人日本教育公務員弘済会岐阜支部 岐阜県PTA連合会

5 大会の方法と参加費

ハイブリッド型【参集型とオンラインの同時開催＋オンデマンド】

参集者……5,000円（高山エースの大会専用ホームページから申し込んで下さい。）

オンライン参加者…3,000円（全国へき地教育研究連盟ホームページから申し込んでください。）

6 大会日程

(1) 第1日目 令和8年11月12日(木)

8:50 9:20 10:10 10:15 12:30 13:30 15:10 15:20～

受付	全体会			移動 昼食 休憩	分散会	移動	バス 出発
	開会式 主催者挨拶 (OL)	休憩	基調報告 特別講演 次期開催地挨拶 アトラクション (OL)		6会場 (OL)		

■全体会

○開会式

・主催者挨拶

文部科学省

岐阜県教育委員会 教育長

堀 貴雄

全国へき地教育研究連盟 会長

温泉 敏

・来賓祝辞

岐阜県知事

江崎 禎英 様

高山市長

田中 明 様

○基調報告

全国へき地教育研究連盟 研究部長

落合 利広

岐阜大会実行委員会 研究部長

川瀬 秀樹

○特別講演

【演題】 「へき地教育における不易と流行

ーA Iを含むデジタル学習基盤をどう手なずけるかー」

【講師】 国立大学法人長崎大学理事

中村 典生 様

○時期開催地挨拶・大会旗引継ぎ

福 岡 県

○アトラクション

・高山市立中山中学校『中山立志太鼓』

・『八幡鳳凰臺囃子保存会』

■分散会

	1	2	3	4	5	6
全国	中国・四国 島根県	近 畿 和歌山県	東 北 宮城県	関東甲信越 新潟県	九 州 佐賀県	北海道 北海道
東海北陸	富山県	石川県	愛知県	静岡県	福井県	三重県

(2) 第2日目 令和8年11月13日(金) (時間帯は、学校ごとに若干異なります。)

8:10 8:40 9:25 9:40 10:25 10:40 10:50 12:00 12:10

受付	授業公開			移動	分科会			移動	バス 出発
	授業公開 I	休憩	授業公開 II		開会 行事	研究概要説明 研究協議 指導助言	閉会 行事		

■分科会

	会場校(級地)		会場校(級地)
A	本巣市立根尾学園(複式) (本巣市根尾神所 268-1)	D	恵那市立上矢作小学校(1級・複式) (恵那市上矢作町 1798-1)
B	郡上市立高鷺北小学校(2級) (郡上市高鷺町ひるがの 4670-282)	E	高山市立荘川さくら学園(2級・複式) (高山市荘川町新淵 130)
C	八百津町立久田見小学校(1級・複式) (加茂郡八百津町久田見 2741)	F	中津川市立加子母中学校(1級) (中津川市加子母 3357)

【全体会特別講演】

〔演題〕 へき地教育における不易と流行
ーA I を含むデジタル学習基盤をどう手なずけるかー

〔講師〕 中村 典生 （なかむら のりお） 氏
（国立大学法人長崎大学理事）



福岡県生まれ。筑波大学人文学類、同大学院教育研究科卒業。岐阜市立女子短期大学准教授、北海道教育大学釧路校教授、長崎大学教育学部教授、同副学長を経て現職に至る。

小規模校英語教育研究会（SEESR）発起人代表、九州英語教育学会会長、小学校英語教育学会会長、全国英語教育学会副会長を務める。

教師の英語力・指導力向上のための実践的オンライン研修（文部科学省 2025）講師。小・中・高等学校を通じた英語教育強化事業（AI の活用による英語教育強化事業）（文部科学省 2025）企画調整委員。

現行学習指導要領の改訂にかかわる。北海道・長崎と、離島・へき地が多く存在する地域で教員養成、教育・研究に携わる。（関連論文等多数あり）

岐阜県においては、本巣市立根尾学園や高山市立荘川さくら学園のへき地英語教育に指導・助言をいただいている。

【アトラクション】

〔演者〕 高山市立中山中学校『中山立志太鼓』

昭和 61 年度の校内文化発表会の際、学級ステージ発表として 3 年 3 組 34 名が太鼓を披露したのがはじまり。その年の 3 年生を送る会において、2 年生代表 45 名が太鼓を伝統として引き継ぐことを宣言し、卒業式で卒業生の歓送として演奏したり、翌年度の新入生歓迎会に演奏したりしたことで、中山中学校の新しい伝統として位置付く。昭和 63 年度に正式名称が「中山中立志太鼓」と決定。「食と緑の飛騨高山博覧会」で演奏を披露し、高山市民の注目を浴びる。以降、有志メンバーにより立志太鼓が受け継がれ、文化発表会や卒業式などの校内行事にとどまらず、地域貢献活動として地域のイベントなどにも積極的に参加し、演奏を披露している。今年度は第 38 代目立志太鼓メンバーとして活動を受け継いでいる。



【アトラクション】

〔演者〕 『八幡鳳凰臺囃子保存会』

平成 13 年に、鳳凰臺屋台組の小中学生に声をかけ、子どもたちだけで演奏する屋台囃子が復活。

八幡祭（秋の高山祭）にて、屋台の曳き廻しの際に鳳凰臺に乗り、小学 1 年生から高校 3 年生で、笛、太鼓、摺鉦を使い、道行曲「大八崩し」と曳き別れ曲「高い山」を演奏している。

八幡祭当日の演奏だけでなく、飛騨伝統芸能祭 2008 をはじめ、第 20 回岐阜県青少年文化活動交流会、「ぎふ清流プラザ」オープニングセレモニー、岐阜県伝統民俗芸能大会、JR 高山駅舎自由通路完成式典、日本遺産を生かした伝統芸能ライブ「NOBODY KNOWS」プロジェクト高山公演といった様々な場で演奏を披露してきた。令和 6 年度は、「清流の国ぎふ」文化祭 2024 のオープニングで、令和 7 年は大阪・関西万博「岐阜の日」で演奏をした。今年度も先日の八幡祭で演奏し、子どもたちだけで行う屋台囃子を継承している。

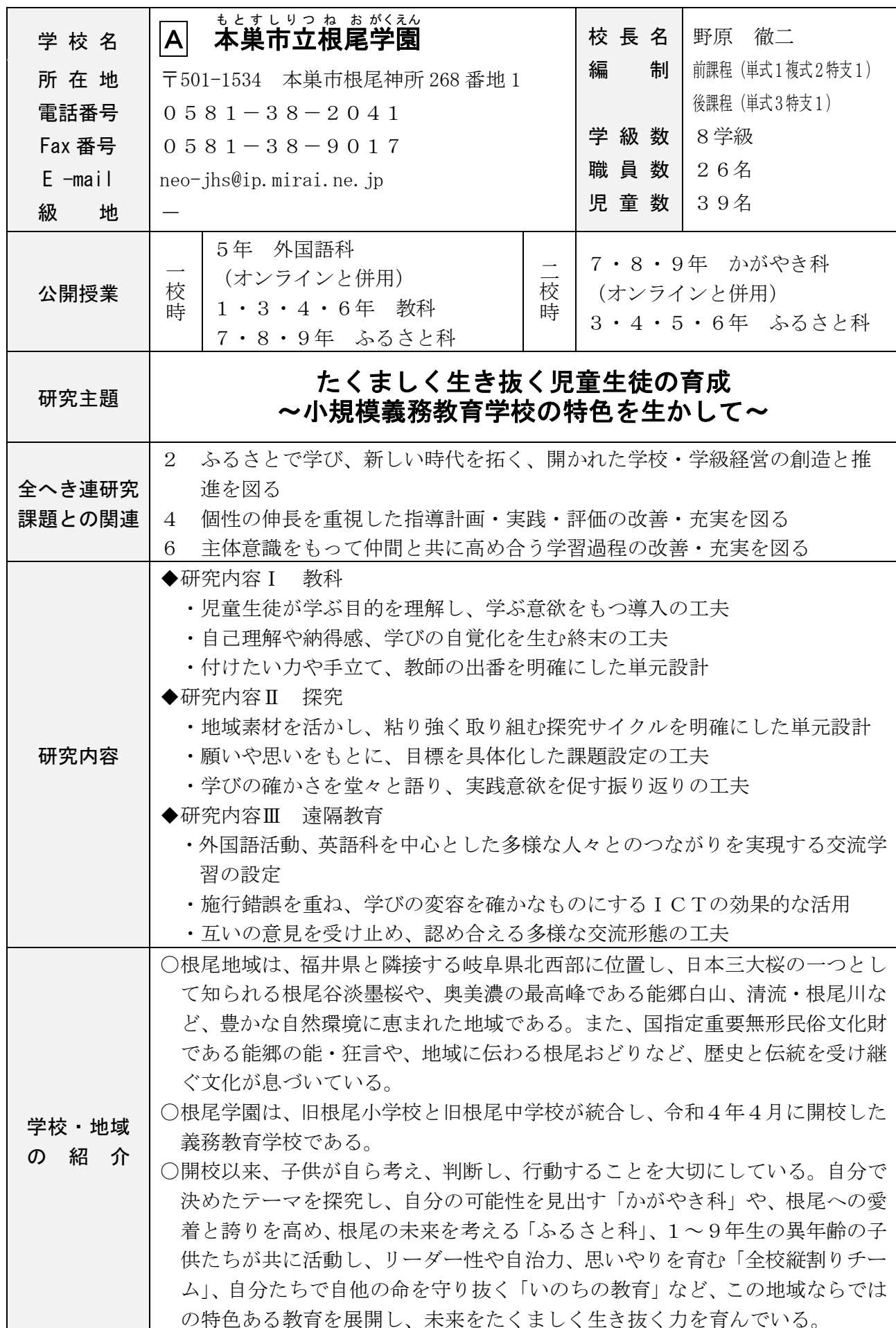


課題別分散会発表校

分散会	会場	領域	全国第10次研究 推進計画研究課題	学校名 【上段:全国ブロック】 【下段:東海・北陸ブロック】	校長 発表者	研究主題等	指導助言者
1	高山市民文化会館 4・7大会議室	学校・学級経営の 深化・充実	<課題1> 確かな経営理 念の確立と、 家庭や地域と 連携した確か な学びを創る 特色ある教育 課程の創造と 推進を図る	【中国・四国:島根県】 おおだしりつきたさんべちゅうがっこう 大田市立北三瓶中学校 〒694-0003 島根県大田市三瓶町多根1938-13 TEL 0854-86-0013 FAX 0854-86-0180 to-kitasanbety@ed.iwamigin.jp	校長 和田 美佐 発表者 教諭 中林 千春	小中連携・地域の教育力を生かした 特色ある教育活動の充実 ～総合的な学習の時間の取組を通 して～ 学級数:単式3 児童生徒数:9名 へき地級:1級	富山県教育委員会教育みらい室 小中学校課教育力向上担当 草原 和彦
				【東海・北陸:富山県】 とやましりつふなくらしょうがっこう 富山市立船峠小学校 〒939-2206 富山県富山市坂本1733 TEL 076-468-2652 FAX 076-468-1990 funakurasho@city.toyama.lg.jp	校長 塩苅 有紀 発表者 教諭 山本 有里子	学校や地域に愛着と誇りを持ち、対 象に進んではたらきかける子供の育 成 ～自己選択・自己決定しながら主体 的に学ぶ姿を目指して～ 学級数:単式2 複式2 特別支援1 児童生徒数:41名 へき地級:指定なし	〒930-8501 富山県富山市新総曲輪1-7 TEL 076-444-3449 FAX 076-444-4439 kazuhiko.kusahara@pref.toyama.lg.jp
2	高山市民文化会館 3・11講堂		<課題2> ふるさとで学 び、新しい時 代を拓く、開 かれた学校・ 学級経営の創 造と推進を図 る	【近畿:和歌山県】 みなべちようりつきよかわしょうがっこう みなべ町立清川小学校 〒645-0201 和歌山県日高郡みなべ町清川2340 TEL 0739-76-2002 FAX 0739-76-2067 kykw-el@minabe-kyo.jp	校長 石井 尚之 発表者 校長 石井 尚之	主体的に学び、考えを表現する子ど もの育成 ～学び合いを通して基礎学力の定 着と表現力の向上を目指して～ 学級数:複式3 特別支援1 児童生徒数:18名 へき地級:1級	石川県教育委員会奥能登教育事務所 指導主事 瀬戸 貴之
				【東海・北陸:石川県】 あなみずちようりつこうようしょうがっこう 穴水町立向洋小学校 〒927-0009 石川県鳳珠郡穴水町字比良イ-24 TEL 0768-56-1010 FAX 0768-56-1010 kouyou001@town.anamizu.ishikawa.jp	校長 角間 雅之 発表者 校長 角間 雅之	3つの気で学力(学び続ける力)向上 ～考動タイムの充実・学習リーダー の育成を通して～ 学級数:単式2 複式2 特別支援0 児童生徒数:36名 へき地級:指定なし	〒929-2392 石川県輪島市三井町洲衛10部11番1 TEL 0768-26-2344 FAX 0768-26-2345 t.seto@pref.ishikawa.lg.jp
3	高山市民文化会館 4・4中会議室		<課題3> 地域に根ざ し、家庭や地 域と連携して 豊かな心を育 む教育活動の 創造と推進を 図る	【東北:宮城県】 いしのまきしりつよりいそしょうがっこう 石巻市立寄磯小学校 〒986-2404 宮城県石巻市寄磯浜五梅沢24 TEL 0225-48-2315 FAX 0225-48-2365 elsyori@city.ishinomaki.lg.jp	校長 安達 章美 発表者 校長 安達 章美	学んで楽しい、成長して楽しい、かか わって楽しい、たまらなく楽しい学 校を目指して ～仲間と共に、地域と共に、他校と 共に楽しんで学び、豊かな心を育む 教育活動を通して～ 学級数:単式1 複式1 児童生徒数:4名 へき地級:3級	愛知県教育委員会義務教育課 指導主事 新 育大
				【東海・北陸:愛知県】 したらちようりつづしょうがっこう 設楽町立津具小学校 〒441-2601 愛知県北設楽郡設楽町津具字見出原3-1 TEL 0536-83-2013 FAX 0536-83-2849 tugu-e@kitashitara.jp	校長 村松 睦根 発表者 主幹教諭 西 陽子 (現設楽中学校)	ふるさと津具で学び、たくましく生 きる子どもの育成 ー生活科、総合的な学習の時間で育 むー 学級数:単式0 複式3 特別支援2 児童生徒数:25名 へき地級:2級	〒460-8501 愛知県名古屋市中区三の丸三丁目1番2号 TEL 052-954-6799 FAX 052-954-6963 ikuta.atarashi@pref.aichi.lg.jp

課題別分散会発表校

分散会	会場	領域	全国第10次研究 推進計画研究課題	学校名 【上段:全国ブロック】 【下段:東海・北陸ブロック】	校長 発表者	研究主題等	指導助言者
4	高山市民文化会館 4・4中会議室2		<課題4> 個性の伸長を重視した指導計画・実践・評価の改善・充実を図る	【関東甲信越:新潟県】 ながおかしりつひがしにしょうがっこう 長岡市立東谷小学校 〒940-0145 新潟県長岡市栃堀53番地 TEL 0258-52-2739 FAX 0258-52-2780 57sumon@kome100.ne.jp	校長 郷 美奈子 発表者 校長 郷 美奈子	自ら学び、思いや考えをつなぐ東谷っ子の育成 ～地域の教育資源や体験活動を生かした授業づくりを通して～ 学級数:単式2 複式2 特別支援1 児童生徒数:38名 へき地級:準へき地	静岡県教育委員会静岡教育事務所 参事 沖 剛
				【東海・北陸:静岡県】 かわねほんちようりつ ひかりのもりがくえん 川根本町立光の森学園 〒428-0411 静岡県榛原郡川根本町千頭1236-6 TEL 0547-59-2026 FAX 0547-59-4051 k-hikarinomori.1@kawaneshi-do.com	校長 石川 泰宏 発表者 教諭 植野裕紀子	「主体性・創造性・協働性」を育む ～地域の教育資源や体験活動を生かした義務教育学校ならではの教育活動を通して～ 学級数:単式7 複式2 特別支援2 児童生徒数:56名 へき地級:1級	〒436-0294 静岡県掛川市富部456 TEL 0537-29-5533 FAX 0537-62-1115 takeshi1_oki@piref.shizuoka.lg.jp
5	高山市民文化会館 2・5中会議室	学習指導の深化・充実	<課題5> 学習意欲の向上や個々に最適な学びを重視した指導方法の改善・充実を図る	【九州:佐賀県】 からつしりつきゅうらぎしょうちゅうがっこう 唐津市立厳木小中学校 〒849-3113 佐賀県唐津市立厳木町牧瀬328番地1 TEL 0955-63-2531 FAX 0955-63-2532 kyuuragi-e@education.saga.jp	校長 吉末 恭享 発表者 教諭 白木 佳子	主体的・協働的に学ぶ児童生徒の育成 ～9年間の系統性を意識した学習づくり～ 学級数:単式小6 中3 特別支援小2 中2 児童生徒数:168名 へき地級:指定なし	福井県教育庁義務教育課 指導主事 松本 桂一
				【東海・北陸:福井県】 おおいちようりつなたしょうしょうがっこう おおい町立名田庄小学校 〒917-0371 福井県大飯郡おおい町名田庄小倉6-1 TEL 0770-67-2010 FAX 0770-67-2268 natasho-e@town-ohi.ed.jp	校長 吉田 尚子 発表者 教諭 山田 恭平	学習意欲の向上を目指した教科横断型の指導の充実 学級数:単式6 複式0 特別支援1 児童生徒数:87名 へき地級:1級	〒910-8580 福井県福井市大手3丁目17-1 TEL 0776-20-0574 FAX 0776-20-0671 gimu@pref.fukui.lg.jp
6	高山市民文化会館 2・3練習室		<課題6> 主体意識をもって仲間と共に高め合う学習過程の改善・充実を図る	【北海道】 いまかねちようりつ たねかわしょうがっこう 今金町立種川小学校 〒049-4324 北海道瀬棚郡今金町種川369 TEL 0137-82-0506 FAX 0137-82-0506 tanesyoi@imakane-gakko.ed.jp	校長 若林 則幸 発表者 校長 若林 則幸	考えや思いを伝え合い、表現できる児童の育成 ～児童一人一人に合わせた「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実践を通して～ 学級数:単式1 複式2 特別支援2 児童数:12名 へき地級:1級	三重県教育委員会小中学校教育課 充指導主事 大橋 愛
				【東海・北陸:三重県】 きほくちようりつつかみさとしょうがっこう 紀北町立上里小学校 〒519-3403 三重県北牟婁郡紀北町上里801 TEL 0597-35-0019 FAX 0597-35-0019 kamisato.kocho@kihoku.ed.jp	校長 小久保 久美子 発表者 校長 小久保 久美子	確かな学力を身につけ、自ら学び、自ら考える態度と力を育てる ～伝え合う活動を通して～ 学級数:単式2 複式2 特別支援1 児童生徒数:43名 へき地級:指定なし	〒514-8570 三重県津市広明町13番地 TEL 059-224-2963 FAX 059-224-3023 shocho@pref.mie.lg.jp



学 校 名	<div> <div>B</div> <div>ぐじょうしりつたかすきた 郡上市立高鷲北小学校</div> </div>			校 長 名	丹羽 強
所 在 地	〒501-5301 郡上市高鷲町ひるがの4670番地282			編 制	単式4 複式1 特支1
電話番号	0575-73-2533			学 級 数	6学級
Fax 番号	0575-73-2463			職 員 数	11名
E-mail	takasukita-sho@gujo.ed.jp			児 童 数	57名
級 地	2級				
公開授業	一校時	1年 国語 2年 生活 5年 総合的な学習の時間	二校時	3・4年 体育 6年 算数 しらかば 算数	
研究主題	ふるさと郡上での学びを生かし、 新しい時代を築く心豊かな子どもの育成 ～よさを発揮しながら、自ら学び進める授業～				
全へき連研究 課題との関連	1 確かな経営理念の確立と、家庭や地域と連携した確かな学びを創る特色ある教育課程の創造と推進を図る 5 学習意欲の向上や個々に最適な学びを重視した指導方法の改善・充実を図る 6 主体意識をもって仲間と共に高め合う学習過程の改善・充実を図る				
研究内容	研究内容（1）よさを発揮しながら、自ら学び進めるふるさと学習 ①地域の教育資源（ひと、もの、こと、自然）の活用 ・この地域ならではの特徴を生かした教育課程の改善 ②他教科との関連を明確にした指導計画 ・他教科で身につける力と、つけた力をふるさと学習でどう生かすかの明確化 研究内容（2）よさを発揮しながら、自ら学び進める単位時間の授業 ①学習意欲を高める導入の在り方 ②児童のよさが際立つ学習活動の工夫 ・児童の個性に応じた学習スタイルの保証 ・目的を明確にした個別学習と集団学習 ・よさを発揮しよさが顕在化する指導・援助 ③「できた・分かった」を自覚する終末の在り方				
学校・地域の紹介	○清流長良川の源流、大日ヶ岳を間近にのぞむ郡上市最北端の小学校である。 ○標高900m前後の冷涼な気候を生かした三白産業（牛乳・大根・雪）が盛んな地域で、校区には広大な耕地や牧草地、そして5つのスキー場が開かれている。さらにキャンプ場などのアウトドア施設や日本最南端の水芭蕉群生地などの名所も多く、年間を通して多くの観光客が訪れる、豊かな自然に恵まれた地域である。 ○年4回のスキー教室を実施し、全校児童が大回転に挑む「高北カップスキー大会」が開催される。 ○総合的な学習の時間では、「ふるさと高鷲」について知ることをテーマに、そのよさを味わうことができる体験を中核に据えて学習を進めている。講師は、ほとんどが地域や保護者の方々と、学校の教育活動に積極的に支援・協力をしてくださるため、地域人材に恵まれている。				

学 校 名	C や お つ ち ょ う り つ く た み 八百津町立久田見小学校			校 長 名	荻野 洋子
所 在 地	〒505-0422 加茂郡八百津町久田見 2741 番地			編 制	複式
電話番号	0 5 7 4—4 5—1 0 0 4			学 級 数	4 学級
Fax 番号	0 5 7 4—4 9—2 5 5 4			職 員 数	8 名
E-mail	kutami@sch.yaotsu.jp			児 童 数	3 1 名
級 地	1 級				
公開授業	一校時	3 年、4・5 年、6 年（各学級） 総合的な学習の時間 （4・5 年生はオンラインと併用）	二校時	3～6 年 総合的な学習の時間 ・トランペット鼓隊指導 ・校歌等 2 曲披露（1 年参加） （オンラインと併用）	
研究主題	地域の一人として自分の生き方を見つめる子の育成 ～地域の人・もの・こととの関わりを通して～				
全へき連研究 課題との関連	1 確かな経営理念の確立と、家庭や地域と連携した確かな学びを創る特色ある教育課程の創造と推進を図る 2 ふるさとで学び、新しい時代を拓く、開かれた学校・学級経営の創造と推進を図る 3 地域に根ざし、家庭や地域と連携して豊かな心を育む教育活動の創造と推進を図る				
研究内容	豊かな地域資源「人・もの・こと」と関わる体験的な学習や課題追究型の学習を積み上げることで、研究主題「地域の一人として自分の生き方を見つめる子の育成」を目指している。そのために、以下の 2 点を柱として研究を推進している。 【研究内容 1】魅力的な単元構想の在り方 児童が主体的に体験学習に取り組み、課題を追究できるように単元を構想する。 ① 地域資源の精選と意図的な設定 授業者は自ら取材し、魅力ある資源を精選している。また、発達の段階や児童の実態、系統性を踏まえた資源を意図的に位置付け単元を構想する。 ② 反復・螺旋的な課題追究型学習の位置付け 体験学習の後、情報を整理し課題追究をするという学習過程を設定する。 ③ 協働的で多様な発信方法の工夫 地域のためにできることを仲間と協働して発信する単元の出口を設定する。 【研究内容 2】主体的に学ぶ単位時間の在り方 単位時間において、児童が主体的に追究し、自己の変容を自覚することができるよう、以下の 4 点に重点を置き、単位時間を構想する。 ① 必然性のある課題設定 ② 体験や収集した情報を根拠にした話合い ③ ねらいに迫る深めの発問と教師の出場、地域講師の活用 ④ 単元の出口を踏まえた終末				
学校・地域の紹介	本校は標高 520m に位置し、55 年の伝統あるトランペット鼓隊を誇りとする高原の学校である。この地域では、1590 年に始まったとされる「久田見祭り」が受け継がれている。国の無形文化財、県の重要無形民俗文化財に指定されており、小中学生も、山車のからくり人形を操作したり、太鼓や篠笛のお囃子を担ったりして参画している。豊かな地域資源を貴重な教材として、ふるさと学習「青柳活動」に重点におき、ふるさと久田見を愛する心を育む教育を推進している。				

学 校 名 所 在 地 電話番号 Fax 番号 E-mail 級 地	<div> <div>D</div> <div>え な し り つ か み や は ぎ 恵那市立上矢作小学校</div> </div> 〒509-7506 恵那市上矢作町 1798 番地 1 0 5 7 3 - 2 6 - 6 8 7 9 0 5 7 3 - 4 7 - 2 9 5 7 kamiyahagi-e@ena-gif.ed.jp 1 級	校 長 名 編 制 学 級 数 職 員 数 児 童 数	高橋 かおり 複式（複式 3 特支 2） 5 学級 9 名 3 1 名
公開授業	一校時 3・4 年 算数 （オンラインと併用）	二校時 5・6 年 社会 （オンラインと併用） 1・2 年 生活	
研究主題	主体的・協働的に学びを深める子 ～少人数の特性を活かした指導の工夫～		
全へき連研究課題との関連	4 個性の伸長を重視した指導計画・実践・評価の改善・充実を図る 5 学習意欲の向上や個々に最適な学びを重視した指導方法の改善・充実を図る 6 主体意識をもって仲間と共に高め合う学習過程の改善・充実を図る		
研究内容	<p>本校児童は、素直で明るく、仲間や地域講師などの他者と良好な関係を築いて活動できるという良さがある。一方、対立を避けて自分の考えを抑えたり、活動に受け身になったりする姿も見られる。これらの実態を踏まえ、学校の教育目標「たくましく すこやかな 上矢作の子」の具現を目指し、児童が自分の思いや考えをもち、主体的・協働的に学ぶ姿の育成を重点に研究を推進している。</p> <p>研究内容 1 指導計画の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> （1）単元構成の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・小規模・複式形態を活かした指導計画 （2）一単位時間の指導の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・3つの対話（対象・自己・仲間）を効果的に位置付けた学習過程 ・学習形態の工夫 <p>研究内容 2 指導方法の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> （1）導入の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習課題の明確化 ・一人一人に見通しをもたせる場の設定 （2）学習環境の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・教科の見方・考え方を意識的に働かせるための手立て ・表現力を育てるための手立て （3）振り返りの工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・学びのよさや高まりを自覚するための振り返り ・自分の成長や変容が分かるような教師からの意図的な価値付け 		
学校・地域の紹介	<p>○上矢作町は岐阜県の南東端に位置し、愛知県と長野県の県境に接する地域である。面積の約 95%が森林で、町名の由来となった矢作川の各支流が流れる、自然豊かな山間の町である。</p> <p>○令和 7 年度末に上矢作中学校が閉校し、上矢作小学校は町内で唯一の学校となった。保護者や地域の人々は学校教育に協力的で、地域の講師を迎えて実施する「ふるさと学習」など、郷土に学ぶ教育活動が充実している。</p> <p>○児童数の減少により、令和 5 年度から複式学級を編制し、令和 8 年度からは完全複式となる。小規模校の特性を生かし、子どもたちが主体的・協働的に学力を育てるため、複式学級における指導について研究を進めている。</p>		



学 校 名	E たかやましりつしょうかわがくえん 高山市立 荘川さくら学園			校 長 名	建石 淳
所 在 地	〒501-5413 高山市荘川町新渚 130 番地			編 制	小課程(複式3)
電話番号	0 5 7 6 9 - 2 - 2 1 0 7				中課程(単式3特支1)
Fax 番号	0 5 7 6 9 - 2 - 0 0 1 5			学 級 数	7 学級 (小課程3 中課程4)
E-mail	shokawa-sakura-g@edu.city.takayama.gifu.jp			職 員 数	2 0 名
級 地	2 級			児 童 数	4 7 名
公開授業	一校時	○1・2年 えいごあそび (オンラインと併用) ○8年 英語 ○3・4年荘タイム(総合的な学習)	二校時	○7・8・9年 育Me科 (オンラインと併用) ○5・6年 育Me科	
研究主題	郷土を愛し、グローバルな未来社会を生き抜く力を育む				
全へき連研究課題との関連	2 ふるさとで学び、新しい時代を拓く、開かれた学校・学級経営の創造と推進を図る 5 学習意欲の向上や個々に最適な学びを重視した指導方法の改善・充実を図る 6 主体意識をもって仲間と共に高め合う学習過程の改善・充実を図る				
研究内容	本校は、令和7年4月に高山市初の義務教育学校として開校した。開校宣言には「荘川の未来と人々の心に光を灯すことを期待し ここに高山市立荘川さくら学園 義務教育学校の開校を宣言します」という一文がある。高山市では、第4期高山市教育振興計画において、「飛騨高山に誇りと愛着を持ち、学びにより身に付けた資質や能力を活かし、持続可能な地域や社会の創り手となる人を育みます」という目標を示している。こうした市の方向性をふまえ、本校では、「地域に根ざしながら子どもたちが世界とつながり、異文化や多文化を理解し、多様な社会を生き抜く人間の育成」を教育理念に掲げて、「保小中一貫した英語教育」「郷土教育」「非認知能力の育成」の3点を柱として、地域と連携しながら教育活動に取り組んでいる。 ○研究内容 1 荘川から世界の人とつながる「外国語能力」「プレゼン・ICT能力」「確かな学力」の育成 2 荘川で生まれ育ったことを誇りに想い、地域に貢献する「地域社会人」の育成 3 変化する未来社会に適応できる「対人関係能力」の育成				
学校・地域の紹介	○令和7年3月に荘川小、荘川中が閉校し、高山市初の義務教育学校として開校した、全校児童生徒47名(令和8年4月現在)の学校である。保育園、給食センターが同じ敷地にあり12年間連続した教育や食育を行っている。教育課程特例校として、前期課程1・2年生は、英語教育を行っている。 ○荘川町は高山市の西部に位置し、校区は校名の由来である樹齢500年余りの荘川桜や庄川など豊かな自然に恵まれ、村芝居や獅子舞など伝統文化が息づいている。こうした地域の資源を生かし、総合的な学習の時間に、郷土教育を行っている。				



学 校 名 所 在 地 電話番号 Fax 番号 E-mail 級 地	<div> <div> <div>F</div> <div>なかつがわしりつかしも</div> </div> <div> 中津川市立加子母中学校 </div> </div> 〒508-0421 中津川市加子母 3357 番地 0 5 7 3 - 7 9 - 3 0 1 9 0 5 7 3 - 7 9 - 3 0 6 9 kashimojh@school.city.nakatsugawa.gifu.jp 1 級			校 長 名 編 制 学 級 数 職 員 数 児 童 数	清水 浩樹 単式 3 3 学級 1 5 名 3 8 名
公開授業	一校時	各学年 総合的な学習の時間 ふるさと探究学習	二校時	各学年 総合的な学習の時間 ふるさと探究学習	
研究主題	「みずから学び続ける」生徒の育成				
全へき連研究課題との関連	2 ふるさとで学び、新しい時代を拓く、開かれた学校・学級経営の創造と推進を図る 3 地域に根ざし、家庭や地域と連携して豊かな心を育む教育活動の創造と推進を図る 5 学習意欲の向上や個々に最適な学びを重視した指導方法の改善・充実を図る				
研究内容	<p>変化の激しい社会の中でもたくましく生きぬき、自らのよりよい生き方を追求し続けるために学び続けたり、小さな集団で育ってきた本校の生徒が、中学校卒業後も、自らの考えや思いを力強く主張したりできるようになってほしいと願い、主題を設定した。次のような項目について重点的に取り組んでいる。</p> <p>【研究内容 1】 探究的な見方・考え方を働かせた考えの「伝え合い」</p> <p>① 「伝えたい」「深めたい」という意欲が高まる課題設定や教材の工夫</p> <p>② 探究的な見方・考え方を働かせた考えを構築するための手立て</p> <p>【研究内容 2】 主体的な学びの調整の推進</p> <p>① 自己理解を深めるための振り返りの仕方の工夫</p> <p>② 次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりするための終末の工夫</p> <p>○自ら学び続ける主体性のある学習者による集団づくり(学級経営・生徒会活動)</p> <p>◇生徒主体で創り上げる学校生活</p> <p>◇確かな学習規範に支えられた自他ともに認め合える集団</p> <p>そのために…</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年を越えた縦割り活動の充実や全校生徒による話合いの場の設定 ・「なりたい自分」を軸とした生き方の追求 ・「hyper-QU」を活用した関係の構築 エンカウンター、グループワークトレーニング等の実施 				
学校・地域の紹介	<p>○加子母地区(旧加子母村)は、岐阜県の東部、中津川市の最北端に位置し、2005年に中津川市加子母となった。面積 114.6 km²のうち、94%を山林が占め、南北に長い山間地の中心を木曽川水系白川が流れる、自然豊かな地域である。</p> <p>○古くから、「村づくりは人づくり」の精神が大切にされ、地域ぐるみで子育てをする意識が高い。2023 年からは学校運営協議会が設立され、教育における学校と地域の連携がますます進められている。</p> <p>○地域講師とともに小学 1 年生から 9 年間をかけて、「加子母教育の日」で生まれ育った加子母のことを学ぶ。地域について知ると同時に、自分自身の生き方を見つめ、加子母での学びを胸に、社会に羽ばたいていけるよう指導をしている。</p>				

第75回 全国へき地教育研究大会 岐阜大会

【参集者申込要領】

2次案内は文字情報が多く、地図などの案内情報はありません。そこで会場へのアクセスや地図、宿泊施設のご案内など詳細な情報を大会申込専用ホームページに掲載いたします。
必要な方は、そちらをご活用ください。

大会申込専用ホームページ

URL : <https://amarys-jtb.jp/75hekichi/>



1. 個人情報の取扱いに関して

お申し込みの際にご記入いただいた参加者の個人情報（氏名、住所、電話番号、メールアドレス等）につきましては、参加者との連絡、宿泊、大会など手続きに必要な範囲内で利用、提供いたします。
その際、関係機関から参加者へ連絡が入る場合もありますので、あらかじめご了承ください。

2. 大会申込方法

- 参集者は大会申込専用ホームページから、お申し込みください。
- オンライン参加者は全国へき地教育研究連盟のホームページからお申し込みください。

申込開始日：2026年7月1日（水）

申込締切日：2026年8月1日（土）

- 大会参加・宿泊・分散会・分科会・大会専用バス・お弁当のお申込みについて
大会申込専用ホームページにアクセスし、お申込みをお願いします。 ※HPからのみ受付
※分散会・分科会・宿泊施設は各項目ごとの定員に達し次第、お申込みは終了させていただきます。

ホームページ上でのお申込みの流れ

- ① 各申込単位（学校）で代表者を決めてください
 - ② 代表者がホームページ『はじめてご利用される方』→『参加』より個人情報登録を行ってください。
 - ③ 宿泊予約が必要な方は、『宿泊』から希望のホテルを選択ください。
- ※昨年の新潟大会でご登録いただいた方も、皆さま『はじめてご利用される方』からお進みください。
昨年のID,PWではログインできません。

※宿泊・お弁当・専用バスについて別途詳細案内がございます

3. 参集者 大会参加費用について

●大会参加費：5,000円

※大会参加費は大会事務局からの依頼に基づき、株式会社高山エース旅行センターが事務手続きを代行いたします。

※入金完了後に参加を取消されても、ご返金はありません。

4. お支払方法について

●大会申込専用ホームページ画面にて申込完了後、お支払い手続きボタンをクリックしてください。

●支払い方法は、銀行振込またはオンラインクレジット決済のいずれかをお選びください。

●支払期日は、9月30日（水）とさせていただきます。

5. 領収証の発行について

●領収書が必要な場合は、個人情報登録画面よりご入力ください。

※参加費、宿泊費、大会専用バス代金、弁当代の項目ごとの領収書を発行することが可能です。

6. 申込内容の変更・取消について

●大会申込専用ホームページから申込内容の変更・取消が可能です。

●ご自身で変更・追加・取消のお手続きをお願いいたします。

※トラブル防止のため、電話での変更・取消は一切受付いたしません。予めご了承ください。

※ご自身で操作ができるのは10月20日までです。

以降は下記大会デスクまでメールにてご連絡ください。

7. お問い合わせ先

JTB総合提携店

株式会社高山エース旅行センター 高山大会デスク

カ コ タカユキ
担当：加子 敬之

〒506-0053

岐阜県高山市昭和町2-116-1

TEL：0577-35-0839（団体旅行）

FAX：0577-34-7535

MAIL：daihyou5@takayama-ace.com

営業日：月～金曜日 10：00～18：00（土日祝休み）

【宿泊施設・お弁当・専用バスのご案内】

大会前日及び当日の宿泊先として宿泊施設、また、ご昼食のお弁当・専用送迎バスをご用意しております。
ご希望の方は下記の内容をご確認いただき、大会申込専用ホームページからお申込みください。

大会申込専用ホームページ

<https://amarys-jtb.jp/75hekichi/>

※大会参加申込と同じID・PWでお申込みください。



1. 宿泊施設（募集型企画旅行契約）

- ・ 最少催行人員 1 名様
- ・ ④ 宿泊施設一覧をご覧ください。
 - * 高山地区は1泊朝食付き・1泊朝食なし（宿泊施設近隣にコンビニエンスストアがあります。
 - また宿泊施設の朝食券を買い求めることもできます。高山駅発のバスに乗車の方は、出発時間にご注意ください。） 岐阜・美濃加茂・恵那・中津川は1泊朝食付となります。
- ・ 添乗員は同行しません。

この旅行では約款に定める旅程管理は行いません。旅行サービスの提供を受けるために必要な手続きはお客様自身で行っていただきます。（チェックイン時、フロントで氏名をお伝えください）

① 出発日（宿泊日基準）について

2026年11月11日（水）

2026年11月12日（木）

② ご旅行代金について

各施設のご旅行代金（宿泊代金）につきましては、④ 宿泊施設一覧をご確認ください。

③ 宿泊施設について

- ・ 宿泊施設については、④ 宿泊施設一覧にてご確認ください。
- ・ 今大会開催の宿泊場所は、ビジネスホテル・シティホテルをご用意しております。
- ・ 1泊朝食付にてお申込みの方で食事が不要な場合も返金は致しかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・ 宿泊施設のご予約は先着順とさせていただきます。各施設お部屋数に限りがございますので、お早めにお申込みください。
- ・ 宿泊施設での直接のお支払いは承れませんのでご注意ください。
- ・ 禁煙ルーム・喫煙ルームのご希望はリクエストとして承ります。確約はできませんのでご了承ください。

④ 宿泊施設一覧

●高山地区：11月11日（水）または 11月12日（木）

素泊まり・食事なし

No.	施設名	部屋タイプ	宿泊料金	室数	駐車場
1	KOKO HOTEL 飛騨高山	シングル	19,150円	30	有(有料)
2	ホテル呉竹荘高山駅前	シングル	16,200円	30	有(有料)
3	Hotel and Spa Gift Takayama ※	ダブル（1名利用）	16,350円	40	有(有料)
4	飛騨高山ワシントンホテル	シングル（禁煙）	11,700円	60	有(有料)
5		シングル（喫煙）	11,700円	10	
6	カントリーホテル高山	シングル	9,100円	40	有(有料)
7	スーパーホテル飛騨高山 ※	シングル	12,150円	40	有(有料)
8	スパホテルアルピナ飛騨高山	シングル	17,850円	30	有(有料)
9	ホテルアルファワン高山	シングル（禁煙）	9,600円	80	有(有料)
10		シングル（喫煙）	9,600円	40	

※Hotel and Spa Gift Takayamaは1泊朝食付き（6：30より）

※スーパーホテル飛騨高山は1泊朝食付き（朝食はホテルの無料サービスとなります 6：30より）

●岐阜：11月12日（木）

1泊朝食付

No.	施設名	部屋タイプ	宿泊料金	室数	駐車場	朝食
11	ホテルイルクレド岐阜	シングル	11,000円	50	有(有料)	6：20より

●美濃加茂：11月12日（木）

1泊朝食付（朝食はホテルの無料サービスとなります）

No.	施設名	部屋タイプ	宿泊料金	室数	駐車場	朝食
12	ホテルルートイン美濃加茂	シングル	11,000円	50	無料	6：30より

●恵那：11月12日（木）

1泊朝食付（朝食はホテルの無料サービスとなります）

No.	施設名	部屋タイプ	宿泊料金	室数	駐車場	朝食
13	ホテルルートイン恵那	シングル	11,000円	50	無料	6：30より

●中津川：11月12日（木）

1泊朝食付（朝食はホテルの無料サービスとなります）

No.	施設名	部屋タイプ	宿泊料金	室数	駐車場	朝食
14	ホテルルートイン中津川インター	シングル	11,000円	60	無料	6：30より

⑤ 取消料について

・お申込み後の変更・取消につきましては、大会専用ホームページ（10/21以降は高山エース旅行センターまでメール）にてお願いします。トラブル防止のため、電話での変更・取消は一切受付いたしません。

予めご了承ください。

・下記、取消料を申し受けます。但し、弊社の営業時間内を基準といたします。

取消料区分（旅行開始日の前日から起算して）	取消料
4日目にあたる日まで	無料
3日目にあたる以降～2日目にあたる日まで	旅行代金の20%
旅行開始日の前日	旅行代金の40%
旅行開始日当日	旅行代金の50%
旅行開始後または無連絡不参加の場合	旅行代金の100%

2. 昼食（お弁当）の申込み・・・旅行契約には該当しません。付帯サービスとして承ります。

① 昼食（弁当）取扱期間：2026年11月12日（木）

受渡し場所：高山市民文化会館

② 弁当代金（お茶付）：1,620円（税込）

③ 取消料について

下記の取消料を申し受けます。但し、弊社の営業時間内を基準といたします。

取消料区分	取消料
11月9日まで	無料
11月10日まで	弁当代の50%
前日・当日・無連絡不参加の場合	弁当代の100%

・お申込み後の変更・取消につきましては、大会専用ホームページ（10/21以降は高山エース旅行センターまでメール）にてお願いします。トラブル防止のため、電話での変更・取消は一切受付いたしません。

予めご了承ください。

3. 11月13日（金）分科会会場への専用バス申込み（募集型企画旅行契約）

① 出発日 2026年11月12日（木）または 11月13日（金）

② 旅行代金について

分科会A、C、D、Fコースお一人様 7,000円

分科会B、Eコースお一人様 4,000円

③ 分科会会場・バス運行コースについて

【記号説明】 === 貸切バス

分科会	日付	バス運行コース
A	11月12日 (木)	高山市民文化会館 === ホテルイルクレド岐阜 15:45発 17:45頃着
	11月13日 (金)	ホテルイルクレド岐阜 === 本巣市立根尾学園 === JR岐阜駅 7:00発 8:00頃着/12:30発 13:30頃着
B	11月13日 (金)	JR高山駅西口(白山口) === 郡上市立高鷲北小学校 === JR高山駅 7:00発 8:00頃着/12:30発 13:30頃着 ★集合場所：市営高山駅西駐車場(西口出口徒歩すぐ)
C	11月12日 (木)	高山市民文化会館 === ルートイン美濃加茂 15:45発 17:45頃着
	11月13日 (金)	ルートイン美濃加茂 === 八百津町立久田見小学校 === JR美濃太田駅 7:15発 8:00頃着/12:30発 13:15頃着
D	11月12日 (木)	高山市民文化会館 === ルートイン 恵那 15:45発 18:30頃着
	11月13日 (金)	ルートイン恵那 === 恵那市立上矢作小学校 === JR恵那駅 7:30発 8:00頃着/12:30発 13:10頃着
E	11月13日 (金)	JR高山駅西口(白山口) === 高山市立荘川さくら学園 === JR高山駅 7:15発 8:00頃着/12:30発 13:30頃着 ★集合場所：市営高山駅西駐車場(西口出口徒歩すぐ)
F	11月12日 (木)	高山市民文化会館 === ルートイン中津川 15:45発 18:30頃着
	11月13日 (金)	ルートイン中津川 === 中津川市立加子母中学校 === JR中津川駅 7:10発 8:00頃着/12:30発 13:20頃着

- ・最少催行人員 1名様
- ・食事：朝0 昼0 夜0
- ・貸切バス会社：濃飛バス、東濃鉄道、岐阜乗合自動車、ニュー飛騨観光バス、長良観光バス、日タク観光バス
- ・添乗員：なし

④ 取消料について

下記の取消料を申し受けます。但し、弊社の営業時間内を基準といたします。

取消料区分(旅行開始日の前日から起算して)	取消料
11日目にあたる日まで	無料
10日目にあたる以降～8日目にあたる日まで	旅行代金の20%
7日目にあたる以降～2日目にあたる日まで	旅行代金の30%
旅行開始日の前日	旅行代金の40%
旅行開始日当日	旅行代金の50%
旅行開始後または無連絡不参加の場合	旅行代金の100%

- ・お申込み後の変更・取消につきましては、大会専用ホームページ(10/21以降は高山エース旅行センターまでメール)にてお願いします。トラブル防止のため、電話での変更・取消は一切受付いたしません。

旅行条件(要約)

◆お申込の際には必ず旅行条件書(全文)をお受け取りいただき、必ず内容をご確認の上お申込ください。

● 募集型企画旅行契約

この旅行は株式会社高山エース旅行センター(〒506-0053 岐阜県高山市昭和町2-116-1 岐阜県知事登録旅行業第2-315号。以下「当社」という)が企画・実施する旅行であり、この旅行に参加されるお客様は当社と募集型企画旅行契約(以下「旅行契約」という)を締結することになります。また、旅行条件は、下記によるほか、別途お渡しするご旅行条件書(全文)、出発前にお渡しする最終日程表と称する確定書面及び当社旅行業約款募集型企画旅行契約の部によります。当社約款をご希望の方は当社にご請求ください。

● 旅行のお申し込み及び契約成立時期

- (1) 所定の申込書に所定の事項を記入し、お申し込みください。
- (2) 旅行契約は、当社が契約の締結を承諾し、申込金を受領したときに成立するものとします。
- (3) 申込金:旅行代金全額

● 旅行代金のお支払い

旅行代金はお送りする請求書に記載された当社が指定する期日までにお支払ください。また、お客様が当社提携カード会社のカード会員である場合、お客様の署名なくして旅行代金、取消料、追加諸費用などをお支払いいただくことがあります。この場合のカード利用日は、お客様からお申し出がない限り、お客様の承諾日といたします。

● 取消料

旅行契約成立後、お客様の都合で契約を解除されるときは、ご案内書の取消料表に基づく金額を取消料として申し受けます。

● 旅行代金に含まれるもの

- (1) 各旅行日程およびご案内に明示した運送機関の運賃・料金(注釈のないかぎりエコノミークラス)、宿泊費、食事代、入場料・拝観料等及び消費税等諸税。
- (2) 添乗員が同行するコースにおける添乗員経費、団体行動に必要な心付け。
- (3) パンフレット等において、旅行代金に含まれる旨表示したもの。

これらの費用は、お客様の都合により一部利用されなくても原則として払い戻しいたしません。

● 旅行代金に含まれないもの

上記「旅行代金に含まれるもの」以外のものは含まれませんが、その一部を以下に例示します。

- (1) 超過手荷物料金(特定の重量・容量・個数を超える分について)。
- (2) 空港施設使用料等(パンフレット等に明示した場合を除きます)。
- (3) クリーニング代、電報電話料その他の追加飲食等個人的性質の諸費用及びそれに伴う税・サービス料。
- (4) ご希望者のみ参加されるオプション・ツアー(別途料金の小旅行)の料金。
- (5) 運送機関が課す付加運賃・料金(例:燃油サーチャージ)。
- (6) 自宅から発着地までの交通費・宿泊費。

● 特別補償

当社は、当社又は当社が手配を代行させた者の故意又は過失の有無にかかわらず、募集型企画旅行約款別紙特別補償規程に基づき、お客様が募集型企画旅行参加中に急激かつ偶然な外来の事故により、その身体、生命又は手荷物上に被った一定の損害について、以下の金額の範囲において、補償金又は見舞金を支払います。

- ・ 死亡補償金:1,500万円
- ・ 入院見舞金:2～20万円
- ・ 通院見舞金:1～5万円
- ・ 携行品損害補償金:お客様1名につき～15万円(但し、補償対象品1個又は1対あたり10万円を限度とします。)

● 「通信契約」を希望されるお客様との旅行条件

当社提携クレジットカード会社のカード会員(以下「会員」といいます。)より「会員の署名なくして旅行代金や取消料等の支払いを受ける」こと(以下「通信契約」といいます。)を条件にお申込みを受けた場合、通常の旅行条件とは以下の点で異なります。

- (1) 通信契約による旅行契約は、当社の旅行契約の締結を承諾する旨の通知がお客様に到達したときに成立するものとします。また申込時には「会員番号・カード有効期限」等を通知していただきます。
- (2) 与信等の理由により会員の申し出のクレジットカードでのお支払いができない場合、当社は通信契約を解除し、規定の取消料と同額の違約料を申し受けます。ただし、当社が別途指定する期日まで現金による旅行代金のお支払いをいただいた場合はこの限りではありません。

● 国内旅行保険への加入について

旅行先において、けがをした場合、多額の治療費、移送費等がかかることがあります。また、事故の場合、加害者への損害賠償請求や賠償金の回収が大変困難であるのが実情です。これらの治療費、移送費、また、死亡・後遺障害等を担保するため、お客様自身で充分な額の国内旅行保険に加入することをお勧めします。詳細については、お問合せください。

● 事故等のお申し出について

旅行中に、事故などが生じた場合は、直ちに同行の添乗員・現地係員・運送・宿泊機関等旅行サービス提供機関、又は、お申込個所にご通知ください。(もし、通知できない事情がある場合は、その事情がなくなり次第ご通知ください。)

● 個人情報の取扱について

- (1) 当社及び販売店は、旅行申込の際に提出された申込書等に記載された個人情報について、お客様との連絡のために利用させていただくほか、お客様がお申込みいただいた旅行サービスの手配及びそれらのサービスの受領のための手続きに必要な範囲内、当社の旅行契約上の責任、事故時の費用等を担保する保険の手続き上必要な範囲内、並びに旅行先の土産品店でのお客様のお買い物等の便宜のために必要な範囲内でお申込みいただいたパンフレット及び最終旅程表に記載された運送・宿泊機関等及び保険会社、官公署、土産品店に対し、お申込み時にいただいた個人情報及び搭乗される航空便名に係る個人データを、予め電磁的方法等で送付することにより提供いたします。
- (2) 当社及び販売店は、旅行中に疾病・事故等があった場合に備え、お客様の旅行中の連絡先の方の個人情報をお伺いしています。この個人情報は、お客様に疾病等があった場合に連絡先の方へ連絡の必要があると当社が認めた場合に使用させていただきます。お客様は、連絡先の方の個人情報を当社及び販売店に提供することについて連絡先の方の同意を得るものとします。
- (3) その他、個人情報の取扱いについては、ご旅行条件書(全文)の「個人情報の取扱い」をご参照ください。なお、当社の個人情報に関するお問い合わせ窓口は次の部署となります。

株式会社JTB お客様相談室 〒140-8602 東京都品川区東品川2-3-11

<https://www.jtb.co.jp/form/inquiry/wmform.asp>

● 旅行条件・旅行代金の基準

この旅行条件は2026年4月1日を基準としています。又、旅行代金は2026年4月1日現在の有効な運賃・規則を基準として算出しています。

【お申込み・お問い合わせ先】

JTB総合提携店 株式会社高山エース旅行センター 営業課 担当:加子(かこ)

〒506-0053 岐阜県高山市昭和町2-116-1
TEL:0577-35-0839
FAX:0577-34-7535
(営業時間:月曜～金曜10:00～18:00 土・日・祝祭日は休業)
総合旅行業務取扱管理者:田辺 淳

【旅行企画・実施】 JTB総合提携店 株式会社高山エース旅行センター 〒506-0053 岐阜県高山市昭和町2-116-1 岐阜県知事登録旅行業 第2-315号 一般社団法人日本旅行業協会正会員



旅行業公正取引協議会会員



ボンド保証会員

総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取扱う営業所での取引の責任者です。この旅行の契約に関し、担当者からの説明にご不明の点がありましたら、ご遠慮なく上記の総合旅行業務取扱管理者にご質問ください。

高山

高山市民文化会館・・・JR高山駅西口（白山口）から徒歩3分



★ 分科会会場行きバス集合場所・・・市営高山駅西駐車場 西口（白山口）方面

◆ コンビニエンスストア

岐阜



恵那



美濃加茂



中津川



地域に根ざした 特色ある へき地の学校

郡上市・高鷲北小学校



高山市・荘川さくら学園



中津川市・加子母中学校



本巣市・根尾学園



八百津町・久田見小学校



恵那市・上矢作小学校

第75回全国へき地教育研究大会岐阜大会実行委員会

実行委員長 岐阜県高山市柘尾小学校 校長 佐藤 秀彦
〒506-1423 岐阜県高山市奥飛騨温泉郷柘尾 350 番地
TEL 0578-89-2050 FAX 0578-89-0010
tochio@edu.city.takayama.gifu.jp